

令和4年度 事業報告書

《事業報告及び事業報告の附属明細書》



社会福祉
法人

千葉市社会福祉協議会

目 次

■令和4年度 事業報告

I 会議等 1

1 理事会	1
2 評議員会	3
3 地域福祉活動計画推進委員会	4
4 内部管理体制の基本方針の運用	5

II 重点項目 6

法人経営部門	6
地域福祉部門	7
施設福祉部門	8

III 実施事業 <法人経営部門> 9

1 経営・財務運営	
取組項目1 経営・企画・財務部門の強化<<重点>>	9
取組項目2 民間財源の安定的確保	9
取組項目3 公費財源のあり方の見直し	9
取組項目4 事業収入の安定的確保(いきいきプラザ内デイサービスセンター)	9
2 法人組織運営	
取組項目5 中長期人材採用計画の策定	10
3 人事・労務	
取組項目6 地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理	10
取組項目7 職場環境整備(メンタルケアの充実)	10
4 給与制度の検証	
取組項目8 専門性の高い職務に係る処遇改善の検討	10
5 人材育成及び能力開発の推進	
取組項目9 人材育成・職員研修の充実	11
取組項目10 業務に係る資格の取得促進	11
取組項目11 人事考課制度の検証	11
取組項目12 目標申告・育成指導の実施	12
6 危機管理対策の拡充	
取組項目13 業務継続計画(BCP)の策定	12
取組項目14 情報セキュリティ対策の実施<<重点>>	12
取組項目15 感染症対策の実施<<重点>>	13
7 広報戦略、効果的な事業実施の検討	
取組項目16 効果的な広報戦略の策定	13
取組項目17 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動	13

IV 実施事業 <地域福祉部門>..... 14

1 地域福祉活動計画に記載している取組項目..... 14

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

活動計画取組項目1	ボランティア活動等の推進	14
活動計画取組項目2	福祉教育の推進	15
活動計画取組項目3	成年後見制度の普及・啓発	16
活動計画取組項目4	地区部会活動従事者に対する研修の実施	16
活動計画取組項目5	民生委員・児童委員に対する研修の実施	17

施策の方向性2 身近な地域で支援が届くしくみをつくる

活動計画取組項目6	見守り活動の促進<<重点>>	18
活動計画取組項目7	地域支えあい活動の促進<<重点>>	18
活動計画取組項目8	子どもの居場所づくりへの支援	18

施策の方向性3 いきいきと暮らせる地域をつくる

活動計画取組項目9	ふれあい・いきいきサロンの促進<<重点>>	19
活動計画取組項目10	ふれあい・子育てサロンの促進	19
活動計画取組項目11	ふれあい・散歩クラブの促進	20
活動計画取組項目12	ふれあい食事サービス事業への支援	20
活動計画取組項目13	多世代交流等の推進[新規]	20

施策の方向性4 どんな相談にも寄り添う体制をつくる

活動計画取組項目14	コミュニティソーシャルワーク機能の強化<<重点>>	21
活動計画取組項目15	地域生活課題の解決に向けた支援	21

施策の方向性5 地域の様々な団体と連携・協働する

活動計画取組項目16	権利擁護のネットワークづくり[新規]	25
活動計画取組項目17	大学と地域の連携の推進	25
活動計画取組項目18	社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進<<重点>>	25
活動計画取組項目19	NPO・団体との連携・協働[新規]	26
活動計画取組項目20	企業等との連携・協働	26
活動計画取組項目21	災害時の体制整備の強化<<重点>>	26

2 地域福祉活動計画外の主だった事業等	27
○ 指定管理の研修	27
○ 賛助会員の拡大	29
○ 保育土修学資金等貸付事業	30
○ 団体事務局(民生委員児童委員協議会事務局)の運営	31
○ 団体事務局(日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局)の運営	31
○ 共同募金事業への協力	31
○ 放課後児童健全育成事業	32
○ 千葉市子どもナビゲーター事業	32

3 地域福祉活動計画外のその他事業等	33
○ 会長表彰	33
○ 社協だよりの発行	33
○ 社会福祉士養成課程における相談援助実習の実習生受入	33
○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進	34
○ ボランティアグループ育成事業	34
○ ウクライナからの避難民に対する支援	34
○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	35
○ 施設団体等助成事業	35
○ 社会福祉事業振興資金貸付事業	35
○ 車椅子貸与事業	36
○ 心配ごと相談所	36
○ 緊急一時的な食糧支援事業	36

V 実施事業 <施設福祉部門>..... 37

千葉市桜木園	37
和陽園	39
千葉市療育センター	42
(1)療育相談所	42
(2)やまびこルーム	44
(3)すぎのこルーム	45
(4)大宮学園ひまわりルーム	46
(5)大宮学園たけのこルーム	47
(6)いずみの家	49
(7)ふれあいの家	50
(8)相談支援事業所ぱれっと	52
(9)千葉市発達障害者支援センター	53
千葉市障害者福祉センター	55
いきいきプラザ・センター	57
いきいきプラザ内デイサービスセンター	61

関連資料【組織図】

※本事業報告書は、本会定款第40条第1号及び第2号に規定する事業報告及び事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

本書の構成

会議等

令和4年度事業計画における重点項目

実施事業

令和4年度事業を部門別に本会以下計画の取組項目に沿ってまとめています。

<法人経営部門>

「シン・経営改善計画2022」

<地域福祉部門>

「第7次地域福祉活動計画」

<施設福祉部門>

「シン・経営改善計画2022」

【 記載内容の説明 】

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

↑

活動計画における施策の方向性

<活動計画取組項目2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) 4,066 千円 [4,267 千円] 3,730 千円

↑
財源※

↑
令和4年度決算

↑
令和3年度決算

↑
令和4年度当初予算

※財源の表記例

市補：市補助金

会費：社協会費

共募：共同募金配分金

V基：ボランティア基金

I 会議等

1 理事会

<第1回> 令和4年6月13日(月)

- 議案第1号 令和3年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第2号 令和3年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告
- 議案第3号 令和3年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算
- 議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任
- 議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任
- 議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会計監査人の報酬
- 議案第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正
- 議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正
- 議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会桜木園任期付職員規程の制定
- 議案第10号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の開催
以上、原案のとおり議決
- 報告第1号 「ウクライナ人道危機救援金」募金箱の盗難について
- 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針及び経営改善計画
の報告
- 報告第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3次地域福祉活動実施計画の
報告

<第2回> 令和4年6月29日(水)

- 議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長の選定
以上、原案のとおり議決

<第3回> 令和4年12月7日(水)

- 議案第12号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第13号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正
- 議案第14号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正
- 議案第15号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並び
に旅費に関する規程の一部改正
- 議案第16号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正
- 議案第17号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会被服貸与規程の一部改正
- 議案第18号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第2回評議員会の招集
以上、原案のとおり議決

報告第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の骨子案について

報告第6号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第4回> 令和5年3月17日（金）

議案第19号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第20号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第21号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第22号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会令和5年4月1日付け組織改正等に伴う関係規程の一部改正

議案第23号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会個人情報保護規程の一部改正

議案第24号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会指定管理個人情報保護規程の廃止について

議案第25号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正

議案第26号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正

議案第27号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の旅費等に関する規程の一部改正

議案第28号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正

議案第29号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事選任区分の変更

議案第30号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会副会長の選定

議案第31号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3回評議員会の招集以上、原案のとおり議決

報告第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正

報告第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の策定

<第5回> 令和5年3月31日（金）<決議の省略>

議案第32号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結

2 評議員会

<第1回> 令和4年6月29日(水)

議案第1号 令和3年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第2号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任

議案第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

報告第1号 「ウクライナ人道危機救援金」募金箱の盗難について

報告第2号 令和3年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告及び決算

報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針及び経営改善計画の報告

報告第4号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第2回> 令和4年12月15日(木)

議案第4号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正

以上、原案のとおり議決

報告第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の骨子案について

報告第6号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第3回> 令和5年3月27日(月)

議案第6号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第7号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第8号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正

議案第10号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事選任区分の変更

以上、原案のとおり議決

報告第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会副会長の選定

報告第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の策定

3 地域福祉活動計画推進委員会

＜第1回＞ 令和4年5月27日（金）

議題（1）第3次地域福祉活動実施計画の令和3年度の進捗状況及び4年間の実績について

議題（2）第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）の令和4年度事業計画について

議題（3）コロナ禍における地区部会活動等の推進について

＜第2回＞ 令和4年8月25日（木）

議題（1）第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）の新規の取組について

議題（2）第7次地域福祉活動計画 令和4年度の現在の動きについて

4 内部管理体制の基本方針の運用

内部管理体制の基本方針に基づき、内部監査を実施し、適正な業務執行の確保に努めた他、以下のような取り組みを行いました。

(1) 経営に関する管理体制

法令、定款等に従い理事会及び評議員会を開催し、事務事業執行状況を適宜報告することで理事及び職員等の職務執行の適正性を確保しました。

総務部門を統合（総務企画課に施設福祉総務課を統合し、施設経営班の執務室を本部事務局内に移動）し、本部機能の強化を図るとともに、組織及び人員の効率化を図りました。

会議の開催にあたり、コロナ禍における新たな開催の方法として、第1回理事会～第4回理事会、定時評議員会及び第2回評議員会～第3回評議員会ともにウェブ会議システムによるオンライン参加と会場への参集を併用したハイブリッド方式で実施しました。

また、業務の効率化、効率的な経営の実現のため、業務執行機関からの独立性を有する会計監査人により、本会が作成する計算書類等の適正性について、監査を行いました。

(2) リスク管理に関する体制

法人全体の情報セキュリティ対策を図るため、これまで各部署で導入しているウイルス対策ソフトに加え、技術的対策として未知の脅威に対応すべく「セキュリティ対策ソフト（商品名：アップガード）」を導入するとともに、むやみに不審なメール（ランサムウェア等）を開かないようにするため職員向けに「標的型攻撃メール訓練」を実施しました。

また、大規模災害発生時においても適切かつ効率的に事業を継続できるようにすることを目的とした社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）を策定しました。

昨年度に続き、各施設において感染症対策を行い、利用者及び職員への感染拡大防止に努めました。

(3) コンプライアンスに関する体制

規律の保持について随時職員に通知するなどし、法令等の順守及び不正の未然防止に努めました。

(4) 監査環境の整備

監事は理事会、評議員会に出席し、理事等の職務執行の適法性及び妥当性について監査した他、令和4年度の理事及び会計監査人の執行について監査を行い、令和5年6月7日に監査報告書を作成及び会長に提出し、第1回理事会、定時評議員会にて報告しました。

Ⅱ 重点項目

新たに「シン・経営改善計画2022」及び「第7次地域福祉活動計画」を策定し、法人運営の基盤強化や事業効果を高める効果的・効率的な法人運営に努めつつ、専門職を多く抱える旧千葉市社会福祉事業団の強みを活かしたコミュニティソーシャルワーク※機能の充実を図りました。

また、アフターコロナの「新しい生活様式」に沿った地域福祉推進の仕組みを創意工夫し、持続可能で多様性と包摂性のある地域共生社会の実現に努めました。

法人経営部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、社協らしさを踏まえた事業の企画運営を担う経営企画部門を強化するとともに、合併を機に情報資産が倍増したことから情報セキュリティ対策に取組み危機管理対策を拡充しました。

1 経営・企画・財務部門の強化 P9

経営企画部門の権限強化及び相応の人員配置を行い、合併相乗効果を発揮できる企画や法人の大きな方向性を示すよう努めました。

2 情報セキュリティ対策の実施 P12

情報漏洩などの事故発生時において、その被害を最小限に留めるための対策強化と原因究明に向けた管理体制を構築しました。

3 感染症対策の実施 P12

感染症事故等の発生を防ぐ対策及び事故発生後の法人内の対応体制を整備しました。

※コミュニティソーシャルワークとは…

地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する“個別支援”とそれらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の“地域支援”を統合的に展開・実践する援助技術のことです。

地域福祉部門

「第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、新しい生活様式を踏まえた「つなぐ・つながる・ひろめる」地域づくりに積極的に取り組みました。

1 見守り活動の促進 P18

住民同士による日常的な見守りや安否確認等が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

2 地域支えあい活動の促進 P18

住民同士による生活支援等の支えあい活動が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

3 ふれあい・いきいきサロンの促進 P19

高齢者が生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるよう、地区部会が実施するサロン活動を支援しました。

4 コミュニティソーシャルワーク機能の強化 P21

「地域共生社会」の実現に向けて、複合化・複雑化した問題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や住民等が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる体制の構築を図りました。

5 社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進 P25

地域における公益的な取組みが広がるよう、社会福祉法人を支援しました。

6 災害時の体制整備の強化 P26

災害ボランティアセンターの体制強化のため、平時から行政とNPO等の団体との三者連携や、本会職員とともに活動できるボランティアを養成し、発災時には速やかに災害ボランティアセンターを設置・運営できるように体制を整備しました。

施設福祉部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、環境の変化にも柔軟に対応できる自律した経営を図るとともに適切な支援を提供します。併せて、地域福祉部門が有する人的資源と当部門が有する高い専門性と蓄積された知識・技術による物的資源の更なる融合により、千葉市における福祉の増進に取り組めました。

1 療育相談所における待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実 P42

従来の外来診療に加え意見書発行業務を開始し、待機期間の短縮を試みましたが、既に児童発達支援事業を利用していたり、外来診療の希望者が多かったこともあり、待機期間の短縮には至らない結果となりましたが、初回受付方法の見直しを行うとともに、吃音や未歩行及び紹介状を持参された方に対して先行して初診を案内する等の取り組みを検討しています。

2 和陽園再整備に向けた取り組み P39

令和10年度の供用開始に向け、円滑な再整備を行うべく、4月に和陽園再整備プロジェクトチームを発足し、月1回の会議により現場職員の意見や要望を取り入れた再整備基本計画の策定に取り組めました。

3 いきいきプラザ内デイサービスセンター安定運営に向けた利用者の確保 P61

いきいきプラザ内デイサービスセンターの経営安定化に向け、利用率の向上を図るべく、関係機関とのさらなる連携強化により、新規利用者の確保に努めました。

Ⅲ 実施事業 <法人経営部門>

1 経営・財務運営

<取組項目 1>

○ 経営・企画・財務部門の強化【総務企画課】 **重点**

法人内部の連携強化による合併相乗効果を発揮するため経営企画部門の人員体制を強化し、役員及び法人経営を熟知した管理職の会議体において法人の課題解決に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
政策決定会議	年 2 4 回	—	年 4 回

<取組項目 2>

○ 民間財源の安定的確保【総務企画課】

社協会費収入及び共同募金配分金収入はコロナ禍前の額に回復できるよう努めました。他都市社協等を参考とした新たな資金確保のための財源開拓、実施に向けた具体的検証は未実施となりました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
新たな財源開拓及び検証	0 件	—	1 件以上

<取組項目 3>

○ 公費財源のあり方の見直し【総務企画課】

地域福祉、施設福祉両部門の管理部門職員人件費の財源検証を行いました但し総括するまでには至りませんでした。

<取組項目 4>

○ 事業収入の安定的確保（いきいきプラザ内デイサービスセンター）【総務企画課】

収支報告に関する会議体を設け、適切な経営管理を図りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
収支説明会議	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回

2 法人組織運営

<取組項目 5>

○ 中長期人材採用計画の策定【総務企画課】

退職予定者の前倒補充に向けた事前協議を千葉市と行うなど、早期の採用に向けた取組みを行うとともに中長期人材採用計画の検討を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
中長期人材採用計画	検討中	—	策定
事務職採用	—	—	1 人

3 人事・労務

<取組項目 6>

○ 地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理【総務企画課】

人事交流の目標人員は達成していますが、職務における職級の整理までは至りませんでした。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
管理職	2 人	—	2 人以上
非管理職	2 人	—	2 人以上

<取組項目 7>

○ 職場環境整備（メンタルヘルスケアの充実）【総務企画課】

こころの健康状態が悪化する前に気軽に相談できる仕組みづくりや復職前の段階的な職場復帰訓練の仕組み等を検討し、令和 5 年度の予算措置をしました。

4 給与制度の検証

<取組項目 8>

○ 専門性の高い職務に係る処遇改善の検討【総務企画課】

職務内容を整理し、調整額または特殊勤務手当の導入などについて検証しましたが、総括できませんでした。

5 人材育成及び能力開発の推進

<取組項目 9>

○ 人材育成・職員研修の充実【総務企画課】

策定に向けて職員で意見交換を実施しましたが、人材育成計画の策定には至りませんでした。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
人材育成方針	検討したが策定できていない。	—	人材育成計画を策定・推進する体制づくり

<取組項目 10>

○ 業務に係る資格の取得促進【総務企画課】

高齢・障害・子ども分野などの横断的、かつ、生活困窮などの複合的な課題に対し多様なアプローチが求められるようになったため、職員が持つ業務に必要な最低限な資格に加え、業務能力の向上を目指した資格の取得を促しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
介護予防指導士	20人 (38.5%)	19人 (35.2%)	23人 (42.6%)
介護福祉士	37人 (86.0%)	39人 (90.7%)	40人 (93.0%)
社会福祉主事	98人 (87.5%)	89人 (82.4%)	94人 (87.0%)
社会福祉士・精神保健福祉士	44人 (26.8%)	44人 (27.2%)	46人 (28.4%)
認定看護師・専門看護師	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)

<取組項目 11>

○ 人事考課制度の検証【総務企画課】

考課者への人事考課研修は実施できませんでしたが、人事考課結果の処遇反映方法の制度設計を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
考課者への人事考課研修	未実施	—	実施
管理職への考課結果 処遇反映のための人事考課	開始	—	開始

<取組項目 1 2>

○ 目標申告・育成指導の実施【総務企画課】

非管理職について、目標申告制度（チャレンジシート）の試行実施を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
面接及び育成指導	年 3 回	—	年 3 回
非管理職への目標申告制度（チャレンジシート）	試行実施	—	導入検討

6 危機管理対策の拡充

<取組項目 1 3>

○ 業務継続計画（BCP）の策定【総務企画課】

災害や不測の事態でも重要業務を中断させず、または必要なレベルで継続し、早期に復旧できるよう、法人全体の総合的な業務継続計画（BCP）を策定しました。（介護保険施設及び障害給付施設等の各拠点の計画については令和 5 年度策定予定。）

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
業務継続計画（BCP）【法人】	策定	—	策定
業務継続計画（BCP）【拠点】	—	—	—

<取組項目 1 4>

○ 情報セキュリティ対策の実施【総務企画課】

重点

技術的対策による情報セキュリティに関するリスク低減に向けた仕組みづくりとして新たなセキュリティソフトを法人内のパソコンに導入するとともに、内部研修により情報セキュリティに関する知識の習得を図りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
情報セキュリティ対策	導入	—	導入
情報セキュリティ研修	年 2 回	—	年 2 回

<取組項目 1 5 >

○ 感染症対策の実施【総務企画課】 **重点**

感染症事故等の発生を防ぐ対策及び事故発生後の法人内の対応体制を整備するため、現行マニュアルの棚卸を実施しましたが、新たな対策の項目立てや所管調整を行うには至りませんでした。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
事故発生時の協力体制	BCP 策定に伴い 現行マニュアル の棚卸を実施	—	整備

7 広報戦略、効果的な事業実施の検討

<取組項目 1 6 >

○ 効果的な広報戦略の策定【総務企画課】

職員が本会の存在意義やその価値をしっかりと理解するとともに、市民により分かりやすく、タイムリーな情報が「伝わる」ための仕組みを構築するため広報戦略方針を策定しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
広報戦略方針	策定	—	策定
既存広報媒体の リニューアル	一部実施	—	検討 (一部実施)
戦略的広報検討体制	検討	—	整備

<取組項目 1 7 >

○ 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動【総務企画課】

地域福祉推進を図るため、本市の福祉課題について市と協議を進めました。引き続き、社協事業に係る要望活動を行政へ行います。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
市との協議の場	年 9 回	年 9 回	年 1 2 回
市への要望事項提出	年 1 回	年 1 回	年 1 回
全所属長会議	未実施	—	年 2 回

IV 実施事業 <地域福祉部門>

1 地域福祉活動計画に記載している取組項目

施策の方向性 1

学びの場をつくり、福祉人材を育成する

<活動計画取組項目 1>

○ ボランティア活動等の推進

・ ボランティア【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) **3,610 千円** [3,460 千円] **4,078 千円**

ボランティアの相談・登録を行い、ボランティア情報紙等を発行して、ボランティア情報を提供しました。

また、新たにボランティア活動に参加する人や既に登録しているボランティアに対し、多種多様なボランティア講座を開催し、人材の確保・育成に努めました。

(ボランティアセンターのお知らせ・ぼら☆とぴ)

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行回数	年 8 回	年 8 回	年 8 回

(ボランティア講座)

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
講座回数	3 7 回	4 4 回	3 6 回

(ボランティア登録人数)

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
新規ボランティア登録人数	2 3 5 人	—	1 8 0 人

・市民後見人【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 187 千円 [258 千円] 444 千円

判断能力が十分でない方が安心、安全でより豊かな生活を送れるよう、将来、市民後見人として活動することを希望する住民に、成年後見人等に必要な知識等を習得する機会を提供しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
新規養成人数（前期）	13 人	—	25 人
新規養成人数（後期）	—	17 人	—
候補者登録人数	78 人	96 人	100 人
フォローアップ研修	1 回	1 回	1 回

<活動計画取組項目 2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V 基) 4,066 千円 [4,267 千円] 3,730 千円

学校や地域等に福祉体験用具の貸出、本会職員による出前講座等を行いました。

また、学校における福祉教育が円滑に行われるよう、学校教員や小・中学校の児童・生徒に対し情報紙や冊子を配付するとともに、教員向け福祉教育講座を開催しました。

なお、市立小・中学校6校を3年間、ボランティア活動推進協力校として指定し、企画・提案や助成金を通じて、学校が行う福祉教育を支援しました。

(福祉教育ニュース)

対象：小・中学校教員

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回

(わたしもぼくもボランティア)

対象：小学4年生から中学3年生

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉冊子「やさしい気持ち」)

対象：小学4年生

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉冊子「やさしい社会をつくる」)

対象：中学2年生

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉教育講座)

対象：小・中学校教員

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
講座回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉用具貸出、講師派遣、訪問等)

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
実施件数	2 9 9 件	—	5 0 件

<活動計画取組項目 3>

○ 成年後見制度の普及・啓発【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 45 千円 [14 千円] 114 千円

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守ることができる成年後見制度について広く周知を図るため、ホームページによる情報提供、パンフレットの作成、講習会の開催及び講師の派遣を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
ホームページによる情報提供	常時	常時	常時
パンフレットの配架	常時	常時	常時
講習会等の開催	1 2 回	8 回	8 回
講師派遣（出前講座）の実施	1 8 回	1 0 回	1 0 回

<活動計画取組項目 4>

○ 地区部会活動従事者に対する研修の実施【地域福祉推進課】

(会費・共募) 368 千円 [448 千円] 359 千円

地区部会活動従事者を対象に、地域の福祉課題の発見・把握・課題解決につながるための知識や情報を習得してもらうため研修会を年4回開催しました。

<活動計画取組項目 5>

○ 民生委員・児童委員に対する研修の実施

・ 民生委員・児童委員全体研修等【生活支援課】

(受託金) 448 千円 [586 千円] 490 千円

民生委員・児童委員を対象に、民生委員・児童委員としての人格識見の向上と職務を行ううえで必要な知識及び技術の修得のため、民生委員・児童委員全体研修、地区民児協会長・副会長研修を開催しました。

なお、全体研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、規模を縮小しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	2 研修	2 研修	2 研修
受講者数	全体研修 530 人 会長・副会長研修 226 人	全体研修 196 人 会長・副会長研修 83 人	全体研修 1,520 人 会長・副会長研修 249 人

・ 主任児童委員研修【総務企画課】 (予算は P.27 指定管理の研修に含む)

主任児童委員を対象に、活動に必要な知識を習得するための研修を年 1 回実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	28 人	140 人	140 人

・ 新任民生委員・児童委員研修【総務企画課】

(受託金) 332 千円 [ー千円] 332 千円

令和 4 年 12 月の一斉改選により、新たに委嘱された民生委員・児童委員及び民生委員協力員を対象に、委員としての心構えと基本的な職務内容を習得するための研修を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	1 研修	ー	1 研修
受講者数	333 人	ー	500 人

施策の方向性 2

身近な地域で支援が届くしくみをつくる

<活動計画取組項目 6>

○ 見守り活動の促進【地域福祉推進課】

重点

(共募) 1,235 千円 [1,235 千円] 1,335 千円

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会エリア数	3 4 地区部会 エリア (251 町内自治会)	3 3 地区部会 エリア (251 町内自治会)	3 5 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 7>

○ 地域支えあい活動の促進【地域福祉推進課】

重点

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、活動の継続に向けた支援を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会エリア数	2 6 地区部会 エリア	2 5 地区部会 エリア	2 7 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 8>

○ 子どもの居場所づくりへの支援【地域福祉推進課】

(共募) 8 千円 [一千円] 8 千円

千葉市こども食堂ネットワーク（以下「ネットワーク」）、千葉市こども家庭支援課と情報交換会を開催しました。

また、本会ホームページ内「子ども食堂ほしいもののリスト」の機能拡充や民間団体等助成金申請を希望する子ども食堂への申請補助、ネットワーク主催事業との共催など、関係団体との関係づくりに努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
取組内容	ホームページ更新 情報交換会開催	情報交換会開催	ホームページ更新 情報交換会開催

施策の方向性 3

いきいきと暮らせる地域をつくる

<活動計画取組項目 9>

○ ふれあい・いきいきサロンの促進【地域福祉推進課】

重点

(市補・会費・共募) **4,130 千円** [2,762 千円] **4,500 千円**

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、少しでも活動につながるよう今年度も助成金の交付基準を緩和し、事業の促進に努めました。

更には、施設福祉部門の専門職をサロン活動に派遣し、活動内容の充実を図りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会数	5 6 地区部会	4 4 地区部会	5 0 地区部会
実施回数	2, 7 5 3 回	1, 8 4 1 回	3, 0 0 0 回
参加者・ボランティア 延べ人数	3 7, 4 7 9 人	—	5 1, 0 0 0 人

<活動計画取組項目 10>

○ ふれあい・子育てサロンの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) **657 千円** [296 千円] **683 千円**

子育て中の親子が自由に集い、ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、少しでも活動につながるよう今年度も助成金の交付基準を緩和し、事業の促進に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会数	4 1 地区部会	2 7 地区部会	3 5 地区部会
実施回数	4 3 8 回	1 9 7 回	4 5 5 回
参加者・ボランティア 延べ人数	7, 6 1 4 人	—	1 3, 6 5 0 人

<活動計画取組項目 1 1 >

○ ふれあい・散歩クラブの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) 448 千円 [386 千円] 450 千円

高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会数	2 4 地区部会	1 7 地区部会	2 5 地区部会
実施回数	4 4 8 回	3 8 6 回	4 5 0 回
参加者・ボランティア 延べ人数	4, 6 2 5 人	—	5, 8 5 0 人

<活動計画取組項目 1 2 >

○ ふれあい食事サービス事業への支援【地域福祉推進課】

(会費・共募) 980 千円 [357 千円] 2,376 千円

ひとり暮らし高齢者等を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、ボランティアや福祉施設等の協力を得て、会食や配食を実施する地区部会を支援しました。

また、地区部会に対し6月までは配食方式、テイクアウト方式での実施を要請し、10月以降、会食方式で実施する場合は黙食での実施を要請しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地区部会数	1 1 地区部会	3 地区部会	1 9 地区部会
実施回数	8 8 回	2 1 回	2 0 3 回

<活動計画取組項目 1 3 >

○ 多世代交流等の推進【いきいきプラザ】新規

稲毛いきいきプラザで高齢者だけにとらわれず地域で暮らす多様な方々が交流できる場を設け、地域の仲間づくりを支援し、助けあい、支えあいの意識の啓発に繋がりました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
実施箇所数	1 か所	—	1 か所

施策の方向性 4

どんな相談にも寄り添う体制をつくる

<活動計画取組項目 1 4>

○ コミュニティソーシャルワーク機能の強化【地域福祉推進課】

重点

様々な困難を抱えた方の相談に応じ、地域団体や相談機関等との連携を通じて課題解決に向けた支援をするとともに、コミュニティソーシャルワーカー（以下「CSW」）の課題共有、相互助言の場とする月例会議やCSW活動の評価検討を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
CSW会議 (個別支援ケース検討)	年 1 2 回	年 1 2 回	年 1 2 回

※うち2回は、スーパーバイザーとして日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏を招き、事例検討会を実施しました。対象をCSWに限定せず、相談業務に従事する職員とし、コミュニティソーシャルワーク機能の強化に努めました。

※うち1回は、CSW及び相談業務に従事する職員を対象に重層的支援体制整備事業の研修会を実施しました。

<活動計画取組項目 1 5>

○ 地域生活課題の解決に向けた支援

・コミュニティソーシャルワーカー【地域福祉推進課】

支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら、様々な関係団体・機関とのネットワークを構築・活用し、困りごとの解決に向けた支援を行いました。

・生活福祉資金の貸付【生活支援課】

(受託金) **50,342 千円** [69,604 千円] **79,817 千円**

千葉県社会福祉協議会から、低所得、障害者または高齢者の属する世帯に対して無利子、または低利で融資する貸付事業の一部を受託し、各区事務所が窓口となり、貸付事業を行うとともに、借受世帯の自立と安定に向けた支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置（特例貸付）を令和4年9月末日まで実施しました。

制度終了後は、特例措置の借受世帯で償還が困難な世帯に対し、自立相談支援機関と連携し、償還猶予や免除の案内を行いました。

ア 貸付金の種別

資 金 の 名 称		申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資金		357	138	66,890,000 円
緊急小口資金(特例貸付)		474	251	48,620,000 円
福祉資金	福祉費	53	46	7,144,100 円
	緊急小口資金(通常貸付)	177	149	13,647,100 円
教育支援資金		167	150	161,168,900 円
不動産担保型生活資金		0	0	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		1	1	3,619,000 円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0 円
合 計	R4	1,229	735	301,089,100 円
	R3	8,838	7,154	3,161,361,450 円

イ 各区事務所等貸付取扱状況 (件)

区分	総合 支援 資金	緊急 小口 資金 (特例)	福祉資金		教育 支援 資金	不動産 担保型 生活資金	要保護 世帯向け 不動産担保 型生活資金	臨時特例 つなぎ 資金	合 計
			福祉費	緊急小口 資金					
中 央 区	36	59	7	45	20	0	0	0	167
花見川区	32	64	9	30	20	0	0	0	155
稲 毛 区	26	44	5	22	35	0	0	0	132
若 葉 区	16	41	17	32	41	0	1	0	148
緑 区	9	17	2	6	12	0	0	0	46
美 浜 区	19	26	6	14	22	0	0	0	87
合計	R4	138	251	46	149	150	0	1	735
	R3	4,641	2,213	43	97	157	0	3	7,154

・生活困窮者の自立促進【生活自立・仕事相談センター中央】

【生活自立・仕事相談センター美浜】

(受託金) 中央区 **39,587 千円** [39,587 千円] **39,587 千円**

美浜区 **13,559 千円** [- 千円] **13,559 千円**

生活保護に至る前の生活困窮者が、生活困窮者から早期脱却するために、相談支援により抱えているニーズを把握し、本人の状態に応じた支援計画を策定するとともに自立相談支援を包括的かつ継続的に、自立に向けた支援を行いました。

また、新たに9月より生活自立・仕事相談センター美浜を受託しました。

区 分	場所	R 4	R 3	R 4 目標値
新規相談件数	中央	6 5 9 件	1, 6 4 6 件	7 5 0 件
	美浜	2 6 7 件	—	3 5 0 件
プラン作成件数	中央	3 3 3 件	5 7 5 件	3 7 5 件
	美浜	9 3 件	—	1 7 5 件

・権利擁護支援【千葉市成年後見支援センター】

＜日常生活自立支援事業＞（利用料、市補） **46,076 千円** [47,318 千円] **54,561 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理に関する助言や手続き代行等の援助をしました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
利用者数 (年度内延人数)	3 5 3 人	3 3 1 人	3 8 0 人
(うち新規契約数)	(8 6 人)	(8 4 人)	
(うち解約・終了者数)	(9 7 人)	(6 4 人)	
市民活動者数	6 0 人	5 5 人	7 0 人

＜法人後見事業＞ （後見報酬、市補） **11,660 千円** [12,938 千円] **14,910 千円**

成年後見人等を家庭裁判所より受任し、認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値	備考
受任件数 (年度内延件数)	4 2 件	4 0 件	4 2 件	—
(うち新規受任件数)	(6 件)	(5 件)		
(うち終了件数)	(9 件)	(4 件)		
市民活動者数	3 1 人	2 8 人	3 0 人	家庭裁判所 からの選任の 有無を問わな い

＜権利擁護に関する相談＞ （受託金） **878 千円** [878 千円] **898 千円**

権利擁護に関する市民からの相談に応じました。

また、必要に応じて弁護士会や法テラスなどの関係機関と連携し不安や疑問の解消を図りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
相談件数	3, 1 0 4 件	2, 1 6 0 件	1, 4 0 0 件
(うち弁護士が対応したもの)	(4 1 件)	(2 9 件)	

・生活支援コーディネーター【各区事務所】

(受託金) **25,643 千円** [24,990 千円] **25,643 千円**

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために、多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、花見川区、稲毛区、若葉区、緑区及び美浜区における千葉市生活支援コーディネーター設置業務を千葉市より受託しました。

千葉市あんしんケアセンター圏域ごとに配置されている第2層生活支援コーディネーターとともに、地域のニーズに沿った支援を提供するため、地域資源の把握やネットワークの構築に努め、不足している場合は資源の開発やインフォーマル資源の更なる発掘に取り組みました。

施策の方向性 5

地域の様々な団体と連携・協働する

<活動計画取組項目 16>

○ 権利擁護のネットワークづくり【千葉市成年後見支援センター】 **新規**

(受託金) **91 千円** [78 千円] **156 千円**

千葉市とともに、千葉県弁護士会等の各種専門職団体、当事者団体、千葉市あんしんケアセンター、千葉市障害者基幹相談支援センター、千葉家庭裁判所などが参画する協議会を運営し、判断能力が十分でない方に対して適切な権利擁護支援が図られるよう、現状把握や意見交換等によって更なる連携強化を図りました。

<活動計画取組項目 17>

○ 大学と地域の連携の促進【地域福祉推進課】

困りごとを抱えている中高生の居場所づくりにあたり、植草学園大学をはじめ、地域住民、都賀コミュニティセンター等と若葉区事務所が連携し、立ち上げを支援しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
実施校数	1 校増 (計 8 校)	1 校増 (計 7 校)	1 校増 (計 8 校)

<活動計画取組項目 18>

○ 社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進【地域福祉推進課】 **重点**

(会費) **157 千円** [183 千円] **249 千円**

社会福祉法人の公益的な取組みのもと実施している、高齢者等に対する「買物支援サービス事業」は新型コロナウイルス感染症の影響もあり一部の施設でのみ実施しました。また、コロナ禍において福祉施設からの新たな協力を得ることは難しく、新規の連携には至りませんでした。花見川いきいきプラザにおいて買物支援サービスの試行実施を 2 回行い、本格実施に向けて検討しています。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
実施法人数	2 8 法人	2 8 法人	3 法人増 (計 3 1 法人)

<活動計画取組項目 19>

○ NPO・団体との連携・協働【地域福祉推進課】 **新規**

(会費) 17千円 [0千円] **8千円**

地域におけるNPO・団体の活動を把握するため、情報収集しました。

また、11月22日に生活協同組合コープみらいと「食品等の寄贈に関する覚書」を締結し、お米（5キロ入り379袋、1キロ入り172袋の計551袋）を寄贈いただき、生活支援課と連携しコロナ禍で生活に困っている方や母子生活支援施設、児童養護施設などに提供しました。

<活動計画取組項目 20>

○ 企業等との連携・協働【地域福祉推進課】

企業等からの相談に基づき、社会貢献活動の提案を行うとともに、企業等の取組みの参考になるような事例を収集し、本会ホームページに掲載しました。

また、地域活動の活性化を図るため、企業等のSDGsの取組みと連携しました。

<活動計画取組項目 21>

○ 災害時の体制整備の強化【地域福祉推進課】 **重点**

(共募) 1,355千円 [1,757千円] **867千円**

災害時に本会職員と協働で運営できるスタッフを養成し、本会職員と運営ボランティアによる災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

また、災害資機材の整備を図りました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
講座回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回
訓練回数	年 2 回	—	年 2 回

2 地域福祉活動計画外の主だった事業等

○ 指定管理の研修【総務企画課】

(受託金) **53,396 千円** [54,157 千円] **53,396 千円**

感染症対策等を講じることによる対面研修受講率の向上と満足度を確保しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
実技を伴う 研修受講率	62.0%	—	平均75%以上
実技を伴わない 研修受講率	64.8%	—	平均85%以上
アンケート 総合評価	4.65点	—	平均4.5点以上

※コロナの感染予防対策として定員数を削減しています。

・ 市民向けセミナーの実施

市民がいきいきと安心して地域で暮らせるよう健康や介護などをテーマとした市民向けセミナーを開催しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	28研修	28研修	28研修
定員数	483人	491人	491人

・ 管理運営部門研修

健全な法人経営や適正な施設運営を図るため、社会福祉法人の経営者・施設長を対象に、法人経営・施設運営に関する専門知識についての研修を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	3研修	3研修	3研修
定員数	23人	60人	60人

・専門職研修

福祉・介護現場に従事する、介護職、ケアマネジャー、看護職、栄養士等の介護現場で働く専門職の方々を対象に、各々に求められる専門的知識や介護技術を習得するための研修等を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
定員数	8 8 人	1 3 6 人	1 3 6 人

・行政職員研修

福祉担当者の資質の向上を図るため、7 研修を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
定員数	1 4 7 人	2 2 8 人	2 2 8 人

・専門課題研修

福祉、介護施設・事業所等に従事する方々に求められる、介護技術、医療・障害知識等について、テーマを設定し、知識、技能の向上を目指しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	2 6 研修	2 6 研修	2 6 研修
定員数	3 6 8 人	4 6 4 人	4 6 4 人

・キャリア創生研修

キャリア創生研修では、業務を通じて求められる知識・技術について習得の機会を提供するとともに、受講者の方々が研修での体験を通して自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることを狙いとして実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	6 研修	6 研修	6 研修
定員数	1 8 1 人	1 2 0 人	1 2 0 人

・企画提案研修

幅広い分野から、利用者・従事者のニーズに対応する知識、技術をテーマとした研修を企画し実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
定員数	1 0 7 人	1 4 0 人	1 4 0 人

・生活援助型訪問サービス従事者研修（受託金） **847 千円** [847 千円] **847 千円**

介護保険利用者（要支援１・２）の居宅を訪問し、身体介護を伴わない生活援助型訪問サービス（掃除・洗濯・買い物・調理など）を実施する際のサービスの質や安全性を習得するための研修を実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
定員数	4 3 人	1 2 0 人	1 2 0 人

○ 賛助会員の拡大【地域福祉推進課】

地域福祉活動を継続的に推進するため、市民及び施設・企業などに本会の活動や会員制度への理解を求め、会員の拡大に向けて積極的に働きかけました。

また、賛助会員の拡大については、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会等関係機関への訪問による依頼や社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、賛助会員の拡大に努めました。

更には、より多くの方々に協力いただけるよう、会員加入・納入方法について利便性を高める手法について、引き続き他都市の動向を調査してまいります。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
賛助会員口数	10,000 円 1 1 口増 3,000 円 1 3 口増	—	前年度実績より 1 0 口増
会費納入方法	検討	—	検討

※口数は、本会取り扱い分のみの実績

<会員の状況>

区分		住民会員 (1口200円)	賛助会員 (1口3,000円)	賛助会員 (1口10,000円)	会費収納額
地区部会	中央区	40,743口	299口	65口	9,699,100円
	花見川区	32,251口	71口	46口	7,124,200円
	稲毛区	30,056口	103口	29口	6,611,209円
	若葉区	22,280口	29口	16口	4,703,000円
	緑区	22,040口	19口	5口	4,515,000円
	美浜区	25,232口	32口	16口	5,302,407円
地区民児協	花見川区	105口	7口	1口	52,000円
	若葉区	50口	—	—	10,000円
本会取扱分		—	62口	71口	898,000円
合計	R4	172,757口	622口	249口	38,914,916円
	R3	178,759口	559口	234口	39,771,236円

○ 保育士修学資金等貸付事業【生活支援課】

(市補) **142,878千円** [144,392千円] **186,232千円**

・保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設に在学し保育士資格を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸付決定件数	86件	61件	100件

・保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸付決定件数	4件	5件	8件

・ 保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ保育士で、保育の仕事に就労することが決定している方に、保育料の一部について貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸付決定件数	3 2 件	2 8 件	4 2 件

・ 就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸付決定件数	2 1 件	2 7 件	2 5 件

○ 団体事務局（民生委員児童委員協議会事務局）の運営【生活支援課】

一斉改選年であったことから、「民生委員・児童委員活動ハンドブック」を改訂し、活動の参考資料として全民生委員・児童委員に配付しました。

○ 団体事務局（日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局）の運営【生活支援課】

千葉市赤十字奉仕団員の募集記事を、「ちばし社協だより」に掲載しました。活動募金の募集については、引き続き感染対策に留意しながら実施しました。

○ 共同募金事業への協力【生活支援課】

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金額の減少幅を縮小させるため、イベント募金および街頭募金の再開、多様な広報媒体の活用により、地域福祉活動における共同募金の使途や必要性をわかりやすく伝えるよう努めました。イベント募金ではQRコード決済による募金について掲示しました。

○ 放課後児童健全育成事業【児童育成課】

(受託金)	2,079,493 千円	[2,113,979 千円]	2,200,382 千円
(市補)	77,249 千円	[13,665 千円]	37,931 千円 (支援員等処遇改善補助金)
(市補)	2,735 千円	[15,430 千円]	24,669 千円 (感染症等緊急対策補助金)

就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てを支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として千葉市からの補助金により、各子どもルームに配布するマスクや消毒液などを購入して感染予防に取り組みました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
子どもルーム数	1 2 3 か所	1 3 4 か所	1 2 3 か所

○ 千葉市子どもナビゲーター事業【中央区事務所】

(受託金)	6,974 千円	[6,974 千円]	6,974 千円
-------	----------	-------------	----------

子どもの貧困対策として、経済的な困窮だけでなく、家庭環境などから、基本的な生活習慣が乱れている子どもを支援するため、直接、子どもや家庭に対して生活習慣の改善を働きかけるとともに、様々な支援機関や関連事業につなげ、子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう支援を行いました。



3 地域福祉活動計画外のその他事業等

○ 会長表彰【総務企画課】 (共募) 513 千円 [340 千円] 606 千円

千葉市において永年にわたり地域福祉の増進に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、本会の目指す“共に手を携える地域社会”の一層の進展を図ることを目的とし、本会会長表彰式を実施しました。

- ・期日：令和4年11月18日（金）
- ・会場：千葉市ハーモニープラザ1階 多目的ホール
- ・件数：特別表彰 3 件
- 会長表彰 324 件
- 会長感謝 37 件
- 合計 364 件

○ 社協だよりの発行【総務企画課】

(共募、その他) 2,663 千円 [2,505 千円] 2,833 千円

社協の存在や地域福祉の現状を広く市民にPRするため、社協だよりを年4回発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などへの配架を通じて、多くの市民へ情報を提供しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
発行部数	1 回あたり 32,000 部	1 回あたり 32,000 部	1 回あたり 32,000 部
発行回数	年 4 回	年 4 回	年 4 回

○ 社会福祉士養成課程における相談援助実習の実習生受入【総務企画課】

社会福祉士養成課程における相談援助実習の実習生を受け入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を行うとともに、実習プログラムの充実を図りました。

(社会福祉士養成課程相談援助実習の実習生の受け入れ)

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
受入数	3 人	3～9 人	3～9 人

※新型コロナウイルス感染予防対策として受入人数を流動的に設定しています。

○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進【地域福祉推進課】

(共募) 445 千円 [395 千円] 2,145 千円

地域の特性や市民の意向を踏まえ、コミュニティソーシャルワーカーが相談・助言等を行い、地域福祉の活性化及び地域における福祉課題の解決を図るため、市民が自主的に行う事業に要する経費について、新たに1団体に助成しました。

引き続き、コミュニティソーシャルワーカーを中心として、区事務所が、各種団体・関係機関と連携し、地域特性に合わせた福祉の課題の解決に向けた取り組みや仕組みづくりに努めます。

○ ボランティアグループ育成事業【地域福祉推進課】

(V基) 1,566 千円[1,630 千円] 2,320 千円

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。

また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

(ボランティアグループへの助成)

区 分	R 4	R 3
グループ数	74 グループ	78 グループ
助成金額	1,475,460 円	1,542,884 円

(使用済み切手等の収集量及び売却金額)

区 分	R 4		R 3	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	117.2 kg	44,280 円	232.6 kg	92,400 円
使用済みプリペイドカード	9,000 枚	450 円	13,120 枚	656 円
合 計		44,730 円		93,056 円

○ ウクライナからの避難民に対する支援【地域福祉推進課】

・茶話会等の開催

千葉県生活協同組合連合会や諸団体とともに、「お茶しませんか」プロジェクトに参加し、県内避難者へ茶話会やバス見学会などを計8回開催しました。

・生活用品の提供

市内避難者へ衣料品や雨具などの生活用品を、計8回38箱届けました。

・イベントへの招待

千葉市ボランティア連絡協議会とともに、舞踊を披露するイベントへ市内避難者を招待しました。

○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【生活支援課】

(市補) 25,068 千円 [6,598 千円] 36,167 千円

・ 高等職業訓練促進資金貸付事業

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用（入学準備金・就職準備金）の貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
入学準備金 貸付決定件数	1 1 件	7 件	1 0 件
就職準備金 貸付決定件数	6 件	6 件	1 6 件

・ 住宅支援資金貸付事業

ひとり親の自立促進を目的として、居住する賃貸住宅の家賃の貸付を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸付決定件数	5 3 件	1 1 件	5 5 件

○ 施設団体等助成事業【生活支援課】(共募) 2,180 千円 [2,117 千円] 4,483 千円

社会福祉団体や民間社会福祉施設が実施する地域福祉活動に要する経費を助成しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
団体補助金	1 0 団体	1 1 団体	1 3 団体
施設補助金	1 0 団体	8 団体	3 6 団体
歳末助成金	5 4 団体	5 3 団体	6 0 団体

○ 社会福祉事業振興資金貸付事業【生活支援課】

(貸付資金) 28 千円 [53 千円] 16,257 千円

社会福祉法人等が設置運営する社会福祉施設の整備等に必要な資金を融資する目的で実施しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
償還元金	1, 6 0 0 千円	1, 6 0 0 千円	1, 6 0 0 千円
受取利息	1 8 3 千円	2 3 1 千円	1 8 3 千円
新規貸付額	0 千円	0 千円	1 6, 0 0 0 千円
新規貸付件数	0 件	0 件	2 件

○ 車椅子貸与事業【生活支援課】 (共募) 166 千円 [357 千円] 517 千円

車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の利便性の向上及び経済的負担を軽減しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
貸出数	5 6 9 件	5 1 8 件	5 5 0 件

○ 心配ごと相談所【生活支援課】

(市補、共募) 1,385 千円 [1,182 千円] 1,469 千円

市民の生活上の様々な悩み事相談に、経験豊かな相談員が面談、電話で応じて問題解決を図ります。また、法律問題を伴う相談に応じるため、弁護士による法律相談を行いました。

なお、長年にわたり、民生委員活動や専門機関等へのつなぎ役として、一定の役割を担ってきましたが、令和5年3月30日(木)をもって閉所しました。

[開所時間] 火・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)

10:00~12:00及び13:00~15:00

[相 談 員] 民生委員・児童委員及び有識者 計14名

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
法律相談	年 9 回	年 9 回	年 9 回
開設日	1 4 6 日	1 4 7 日	1 4 6 日

○ 緊急一時的な食糧支援事業【生活支援課】

フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

<食品配送申請受付件数>

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	事務センター	合計
R4	222 件	40 件	34 件	29 件	22 件	43 件	0 件	390 件
R3	200 件	65 件	21 件	41 件	23 件	37 件	15 件	402 件

V 実施事業 <施設福祉部門>

千葉市桜木園

<実施事業> (受託金) **678,259 千円** [659,165 千円] **686,813 千円**

事業名	定員
医療型障害児入所	50人
療養介護	
短期入所	5人
日中一時支援	
児童発達支援	20人
放課後等デイサービス	
生活介護	

○ 入所利用者の日中活動の充実と高齢化する利用者・保護者への対応

有償サービスの実施に向け、情報収集を行いました。運用方法の確立までは至りませんでした。

成年後見制度の利用について、令和4年度は新たに後見人を選任した利用者はいませんでした。引き続き、未選任者に対し、その制度の有用性を説明し利用を促します。

ターミナルケアへの対応について、「ターミナルケア・マニュアル」の改訂及び職員研修を行いました。

人工呼吸器使用者の受け入れについては、2名が呼吸療法認定士資格を取得しましたが、受け入れ人数は目標値に至りませんでした。今後は、挿管や気管切開を伴う人工呼吸器装着者の受け入れ拡充を図ります。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
有償サービスの実施	情報収集・選定	検討	情報収集・選定
成年後見制度の利用	実施	実施	実施
ターミナルケアの対応	実施	検討	実施
人工呼吸器使用者の受入	1人受入 呼吸療法認定士2名	2人受入 —	2人受入 呼吸療法認定士1名

○ 通所事業及び短期入所事業の利用者増と人工呼吸器使用者の受入対応

通所事業は、1日の受け入れ人数を新型コロナウイルス感染症拡大前と同じ15人に戻したことにより、延べ利用者数は増加しましたが、利用者数の目標値には至りませんでした。

短期入所事業は、7/8～8/19まで、主介護者の入院加療により、療養介護において定員を1名超過して受け入れたことに加え、入所病棟で発熱者が発生した場合の隔離室確保及び12～3月までの感染症流行期における感染対策強化による受け入れ数制限等により、利用者数が減少し、稼働率が低下しました。

人工呼吸器使用者の受け入れについては、安全、安心にご利用いただけるよう、呼吸療法認定士の資格取得を促しましたが、資格取得及び通所事業での使用者受け入れには至りませんでした。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
通所利用者数	1日平均11.2人	1日平均10.1人	1日平均13人
短期入所稼働率	53.2%	90.4%	90.0%
人工呼吸器使用者の受入	—	—	呼吸療法認定士講習受講

○ 入所利用状況

区 分	R 4	R 3
医療型障害児入所施設	726人	1,095人
療養介護	17,279人	17,214人

○ 在宅支援利用状況

区 分		R 4	R 3
短期入所	宿泊	186人	329人
	日帰り	8人	32人
日中一時支援事業		0人	0人
通所	児童発達支援	0人	0人
	放課後等デイサービス	8人	2人
	生活介護	2,659人	2,443人
障害等療育支援事業	訪問療育相談 訪問健康診査等	0人	0人
	外来療育相談	2人	0人
	地域生活支援 施設支援一般指導	0人	0人
外来診察		1,306人	1,213人

<実施事業> (自主運営) 756,650 千円 [725,115 千円] 786,598 千円

事業名		定員
養護老人ホーム	長期入所	80人
	千葉県高齢者虐待等居室確保事業	3人
特別養護老人ホーム	長期入所	50人
	短期入所生活介護事業	4人
	千葉県緊急ショートステイ事業	2人
特別養護老人ホーム (ユニット型)	長期入所	30人
	短期入所生活介護事業	10人
訪問介護事業所・日常生活支援総合事業		—
居宅介護支援事業所		—

○ 和陽園再整備に向けた取組み

重点

令和10年度内の供用開始に向け、(仮称)再整備基本計画の策定を開始し、令和8年度内の建設工事着工に向け検討を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
(仮称) 再整備基本計画	策定中	—	策定

○ 職員の資質向上に向けた取組み

介護技術指導職員の配置及び職員個々のレベルに合わせた個別育成プログラムにより、職員全体の技量の底上げを図り、利用者サービスの質の向上に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
指導者育成研修の 受講	3人	—	3人
育成プログラムの 作成	実施	—	実施
成果の確認と面談の 実施	実施	—	実施

○ 事業安定化に向けた取組み

事業の安定運営には介護・看護人材の安定確保は不可欠であり、職員の定着化に向け、身体的・精神的負担の軽減やＩＣＴ化等の業務の効率化について検討を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
職場体験会の実施	1 回	—	4 回
メンター制度の導入	検討	—	実施
外国人技能実習制度や業務の ICT 化の検討	実施	—	実施

○ 地域交流事業の実施

地域交流事業を、年 1 2 回開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策として、全て中止しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
地域交流事業	0 回／年	0 回／年	1 2 回／年

○ 買物支援サービス事業の検討

周辺地域において、日常的な買物に不便を感じている高齢者等を支援する買物支援サービス事業の具体的な実施地域や、実施に伴う送迎車両と運転員の無償提供等について、若葉区事務所と連携し地区部会等の会合に赴き協議を行いました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
買物支援サービス事業	協議継続	—	週 1 回程度

○ 養護老人ホーム利用状況

区 分	R 4	R 3
長期入所	2 7, 6 4 6 人	2 7, 6 9 6 人
高齢者虐待等居室確保事業	1, 2 5 5 人	7 1 4 人

○ 特別養護老人ホーム利用状況

区 分	R 4	R 3
長期入所	18,250人	18,057人
短期入所生活介護事業	1,279人	706人
千葉県緊急 ショートステイ事業	476人	351人
千葉県特例短期入所	35人	158人

○ 特別養護老人ホーム（ユニット型）利用状況

区 分	R 4	R 3
長期入所	10,950人	10,950人
短期入所生活介護事業	3,463人	3,470人

○ 訪問介護、日常生活支援総合事業利用状況

区 分	R 4	R 3
サービス提供回数	34,653回	31,596回

○ 居宅介護支援事業所利用状況

区 分	R 4	R 3
ケアプラン作成	1,142人	1,128人



(1) 療育相談所

実施事業 (受託金) **234,631 千円** [230,096 千円] **253,675 千円**

心身の発達についての相談・診察に基づき、必要な支援を行う医療機関です。

○ 待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実

重点

令和4年度より、従来の外来診療に加え意見書発行業務を開始し、待機期間の短縮を試みましたが、医師の診察枠（初診、再診時間の変更等）の減少や新型コロナウイルス感染症による保育所等の休園、感染等による診察日の変更、なども影響し、初回問合せから初診予約までの待機期間が8か月待ちとなり目標を達成するに至りませんでした。引き続き受付方法の見直しや嘱託医師の勤務日数の増加等により、初回相談から診察までの待機期間の短縮を目指します。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
初回相談から初診までの待機期間の短縮	8 か月待ち	7 か月待ち	2 か月待ち
初診及び受理面接	年間 5 5 4 件	—	年間 7 1 0 件
研修プログラムの策定	内部研修を中心に行い、研修プログラム策定には至りませんでした。	—	実施

○ 利用状況

区 分		R 4	R 3
相談状況	新規相談	1, 0 0 5 人	1, 0 0 8 人
	来所相談	2 1 人	—
	受理面接	5 5 4 人	6 2 5 人
	再相談	2, 3 2 0 人	1, 8 9 0 人
	他機関連携・調整	8 3 3 人	1, 3 2 8 人
	他機関への訪問	2 5 人	4 人
	計	4, 7 5 8 人	4, 8 5 5 人
診療状況	小児科	4, 6 8 9 人	5, 5 2 9 人
	整形外科	5 1 人	6 7 人
	精神神経科	2 6 9 人	2 2 8 人
	耳鼻咽喉科	3 3 2 人	3 7 8 人
	計	5, 3 4 1 人	6, 2 0 2 人
訓練評価	理学療法	2 1 7 人	3 0 7 人
	作業療法	2 2 1 人	4 5 0 人
	聴能・言語	7 8 0 人	1, 2 2 1 人
	心理	1, 1 3 4 人	1, 0 9 8 人
	計	2, 3 5 2 人	3, 0 7 6 人
検査	X線	1 0 人	1 6 人
	脳波	0 人	0 人
	一般	3 8 2 人	4 5 7 人
	意見書発行	1 5 人	—
	計	4 0 7 人	4 7 3 人
再相談	理学療法	3 人	0 人
	作業療法	0 人	1 人
	聴能・言語	4 人	9 人
	心理	2 3 人	4 5 人
	計	3 0 人	5 5 人
他機関連携調整	理学療法	0 人	0 人
	作業療法	0 人	0 人
	聴能・言語	2 6 人	6 2 人
	心理	2 2 人	2 3 人
	計	4 8 人	8 5 人
他機関への訪問	理学療法	0 人	0 人
	作業療法	0 人	1 人
	聴能・言語	0 人	1 人
	心理	2 人	0 人
	計	2 人	2 人

(2) やまびこルーム

実施事業

(受託金) 74,641 千円 [84,178 千円] 78,627 千円

事業名	定員
福祉型児童発達支援センター	20人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

令和4年度は、職員の異動、退職のため、職員体制が整わず、①新規契約者の受け入れを制限する。②個別指導の頻度を一律月2回とする。③3～5歳児のグループ指導を月1回実施（2歳児のみ月3回実施）とする。などの制限を設けざるを得ない状況でスタートしました。後期になり、非常勤職員が確保され、必要に応じて個別指導の回数を増やしたり、0～1歳児グループ（月3回実施）をスタートさせたり、新たに4人と新規契約を行うなど（令和4年度新規契約者 合計14人）、保護者のニーズに沿った療育の質の向上を図りました。しかし、出席率は微増しましたが、利用者数は減少し、利用者満足度も10%低下しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
利用者満足度	76.0%	86.0%	90%以上
出席率向上	87.8%	85.2%	前年度比較増

○ 利用状況

区 分	R 4	R 3
福祉型児童発達支援センター	1,637人	2,454人
兄弟姉妹預かり事業	18人	40人

(3) すぎのこルーム

実施事業 (受託金) 107,421 千円 [102,450 千円] 107,084 千円

事業名	定員
医療型児童発達支援センター	10人
児童発達支援事業	10人
日中一時支援事業	1人

○ 医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の向上

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施しながら、安全を第一に療育及び保護者支援に努め、専門機関ならではのニーズに沿った支援の充実を図り、保護者アンケートの満足度も高い評価を得ることで、利用人数の増加に繋げることが出来ました。

増加要因は、新規契約児が13人と多く、低年齢児は、特に週2から3日と登園率が高かったことが挙げられます。

児童発達支援事業の契約人数や延べ人数の減少要因は、共働き世帯の増加により民間の預かり型児童発達支援事業所を希望する家庭が多かったことや5歳児グループ数を1グループ減らしたこと、3歳児の契約人数が減少したことが要因となっています。また主な欠席理由としては、親子通園のため兄弟や家庭の都合によるキャンセルや、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い兄弟等の幼稚園等の休園や自粛で登園を見送る家庭が多かったことが挙げられます。

区 分		R 4	R 3	R 4 目標値
医療型児童発達支援センター	利用者満足度	91.4%	93.0%	90%以上
	利用延べ人数の増加	67.7%増加	15.8%減少	前年度比較増
児童発達支援事業	利用者満足度	91.2%	92.4%	90%以上
	利用延べ人数の増加	23.6%減少	3.5%増加	前年度比較増

○ 利用状況

区 分	R 4	R 3
医療型児童発達支援センター	1,231人	734人
児童発達支援事業	1,466人	1,920人
日中一時支援事業	3人	7人
兄弟姉妹預かり事業	70人	28人

(4) 大宮学園ひまわりルーム

実施事業 (受託金) 184,681 千円 [188,886 千円] 191,530 千円

事業名	定員
福祉型児童発達支援センター	40 人
日中一時支援事業	1 人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

利用者の状況及びニーズに合わせた療育内容を提供し、保護者支援の充実を図りました。利用者満足度は昨年度と同様 90%以上を維持することができました。新型コロナウイルス感染症の影響により登園の自粛等が変わらず続いたため出席率は昨年度より微減しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
利用者満足度	92.2%	93.9%	90%
出席率向上	77.0%	79.0%	前年度比較増

○ 利用状況

区 分	R 4	R 3
福祉型児童発達支援センター	6,844 人	7,659 人
日中一時支援事業	0 人	0 人
兄弟姉妹預かり事業	0 人	2 人

(5) 大宮学園たけのこルーム

実施事業 (受託金) **84,938 千円** [85,752 千円] **96,841 千円**

事業名	定員
医療型児童発達支援センター	10人
児童発達支援事業	10人
日中一時支援事業	1人

○ 医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の向上

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、運営方針に沿って日々の療育活動や分離保育、行事等を実施しました。

また、アンケート調査等のニーズを反映し、利用児一人ひとりの個別支援計画に沿った保育内容の提供、保護者向け勉強会や保護者同士の情報交換の場の提供、個別相談の実施などの保護者支援に努めました。民間の預かり型児童発達支援事業所や保育所等と併行して利用する児が増加していますが、利用者延べ人数は前年度より増加しました。

利用者満足度については、医療型は目標値を達成できましたが、児童発達支援は退職や異動により担当者が1年ごとに代わる状況が続いてしまったことの影響もあり、目標値を達成することができませんでした。

区 分		R 4	R 3	R 4 目標値
医療型児童発達支援センター	利用者満足度	92.4%	95.6%	90%以上
	利用延べ人数の増加	10%増加	16.5%増加	前年度比較増
児童発達支援事業	利用者満足度	83.9%	90.2%	90%以上
	利用延べ人数の増加	4%増加	19.7%減少	前年度比較増

○ 利用状況

区 分		R 4	R 3
医療型児童発達支援センター		7 8 5 人	7 1 2 人
児童発達支援事業		9 9 6 人	9 5 7 人
日中一時支援事業		0 人	0 人
兄弟姉妹預かり事業		3 人	3 人
診 察	精神科	0 人	0 人
	整形外科	1 7 人	2 3 人
	小児科	1 3 4 人	1 5 7 人
訓 練 評 価	心理	6 4 人	1 1 5 人
	理学療法	8 2 人	9 2 人
	作業療法	3 3 人	1 2 人
	言語療法	4 2 人	5 7 人

(6) いずみの家

実施事業

(受託金) 91,819 千円 [100,456 千円] 97,631 千円

事業名	定員
就労移行支援事業	6 人
就労継続支援 B 型事業	3 4 人
日中一時支援事業	3 人

○ 高齢化する利用者の施設利用継続に向けた支援

定期面談を利用し、ご本人だけでなくご家族を踏まえた課題や不安、ニーズを伺い、情報収集を行いました。また、必要な方にはグループホームや短期入所の利用を促し、将来への予防の説明を行いました。併せて、ご家族からの相談がスムーズにいくように担当の計画相談支援事業所とも連携しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
支援プログラム	定期面接にて 延べ 39 人と意見 交換を行った	—	意見交換
サービスの紹介等	20 人に紹介等を行 った	—	実施

○ 利用状況

区 分	R 4	R 3
就労移行支援事業	2 7 6 人	6 6 6 人
就労継続支援 B 型事業	6, 3 2 0 人	6, 2 9 7 人
日中一時支援事業	1 0 3 人	1 4 3 人

(7) ふれあいの家

実施事業

身体障害者福祉センター

(受託金) 100,938 千円 [102,917 千円] 101,018 千円

更生相談事業	機能訓練事業
社会適応訓練事業	創作的活動事業
スポーツ・レクリエーション事業	ボランティア養成事業
施設貸出、その他の事業	

○ 多様な障害種別・障害状況・年齢層など幅広い利用者に合わせた教室や地域交流の充実

既利用者も新規利用者も楽しめるように、アンケート結果などで人気のあったヨガなど6種類の短期教室を実施しました。また、利用者同士や一般市民の方が参加、交流できる行事をボッチャ交流会・ふれあいフェスティバルと2回開催しました。短期教室・交流会ともに年度の目標値を達成することができました。

今後も幅広い利用者の方の多様なニーズに応えられるような様々な短期教室の開催や高評価であった短期教室の定期開催化と一般の市民の方も参加できる交流行事を継続、増やしていくことで、地域交流の充実と交流を通じた障害に対する理解を拡げることが図れるような企画・運営に努めていきます。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
短期教室	6 回	2 回	4 回以上
交流会	2 回	0 回	2 回以上

○ 利用状況

区 分		R 4	R 3
生活訓練健康相談		1, 1 6 8 人	1, 1 8 4 人
機能回復訓練		4 2 1 人	2 9 7 人
巡回訓練		0 人	7 人
福祉バス		1, 5 3 3 人	8 0 1 人
福祉カー		3 2 2 人	1 3 7 人
ヒアリンググループ		3 4 日	3 6 日
声の市政だより		8 6 3 人	1, 2 4 3 人
体育室		6, 5 4 9 人	5, 1 1 3 人
その他施設の利用		1 1, 7 7 0 人	9, 9 7 0 人
主 催 事 業	創作的活動事業	1, 1 2 8 人	1, 5 0 4 人
	社会適応訓練事業	1 2 0 人	2 5 9 人
	ボランティア養成事業	1, 8 1 7 人	2, 0 6 5 人
	スポーツ・レクリエーション事業	1, 2 2 5 人	1, 3 7 6 人

(8) 相談支援事業所ぱれっと

実施事業

(受託金) 44,413 千円 [43,706 千円]

46,567 千円

障害児相談支援	基本相談支援	計画相談支援
---------	--------	--------

○ 相談支援を必要とする新規利用者への対応

相談支援を必要とする新規利用者を受け入れました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
新規利用者の受け入れ	22 人契約	50 人契約	10 人契約

○ 職員の専門性の向上

各職員が加算対象となる質の高い支援ができるよう専門研修（医療的ケア児コーディネーター養成研修または支援者養成研修、強度行動障がい支援者養成研修等）を計画的に受講しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
研修の受講	3 人受講	1 人受講	2 人以上受講

○ 利用状況

区 分	R 4	R 3
契約者数	676 件	720 件
新規相談	22 件	50 件
計画書（案）作成	656 件	718 件
計画書作成	676 件	821 件
モニタリング報告書作成	681 件	716 件
サービス提供時 モニタリング	164 件	162 件

(9) 千葉市発達障害者支援センター

実施事業

千葉市発達障害者支援センター運営事業

(受託金) 45,156 千円 [42,001 千円] 46,219 千円

千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

(受託金) 19,275 千円 [11,691 千円] 19,777 千円

○ 地域支援体制の構築への取組み

子育てアシスト、ペアレント・トレーニングのリーダー養成研修を実施し、講師派遣・機関支援については依頼の少ない機関への周知方法を見直し、対象・目的に応じて実施しました。これらの対外的事業を通して発達障害児・者支援を理解して、継続的に援助できる支援者の養成等地域支援体制の構築を目指しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
子育てアシスト	10 か所で実施 (申込は12 か所あったが2 か所は中止となった)	8 か所で実施 (申込は12 か所あったが、4 か所は中止となった)	実施
リーダー養成研修	基礎・実務研修を実施	基礎・実務研修を実施	実施
講師派遣、機関支援への周知方法の見直し	周知方法を見直し、ホームページへの掲載、所管課を通し、各機関へ個別に案内の送付を行った。	—	見直しの実施

○ 千葉市発達障害者支援センター運営事業利用状況

区 分		R 4	R 3
相談支援 発達支援	延支援件数	3, 230件	3, 163件
	情報共有等（調整会議）	38件	30件
	関係機関への助言 （機関コンサルテーション）	318件	232件
相談支援 就労支援	延支援件数	1, 198件	1, 141件
	情報共有等（調整会議）	25件	17件
	関係機関への助言 （機関コンサルテーション）	140件	132件
	職場拡大のための企業等への 啓蒙活動	1件	0件
関係機関に 対する普及 啓発及び 研修	(1) 主催又は共催企画研修	733人	956人
	(2) 外部への講師派遣	1, 206人	1, 043人
	(3) 教育関係者との合同研修会 （(1) 及び(2) の再掲）	1, 218人	1, 442人
関係機関等 との連携	(1) 連絡協議会	1件	1件
	(2) 障害者総合福祉法第 89 条 協議会等への参加	6件	1件
	(3) 他の協議会への参加状況	13件	12件

○ 千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

区 分		R 4	R 3
延べ訪問施設数		157か所	97か所
発達障害児等の発見数	延べ対象幼児数	278人	178人
	支援機関紹介人数	137人	82人
相談件数		380件	270件

千葉県障害者福祉センター

実施事業

身体障害者福祉センター

(受託金) **74,520 千円** [77,995 千円] **74,536 千円**

各種相談事業	機能訓練事業
社会適応訓練事業	創作的活動事業
スポーツ・レクリエーション事業	ボランティア養成事業
施設貸出事業	住宅改造相談事業
福祉機器関連事業	水浴訓練室利用事業
車いす貸出事業	

○ 利用者ニーズに対応する講座の実施

障害者福祉講座の一層の充実を図るべく、アンケート等で要望のあった2講座を新規通年講座として開講しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
通年講座	2 講座開講	4 講座開講	2 講座開講

○ 障害者スポーツの普及啓発

千葉市の障害者スポーツを普及啓発していくため、スポーツ系11講座を開講しました。また、コロナ禍によるハーモニープラザフェスタの規模縮小に伴い、同イベント内企画のスポーツ交流会の人員が大幅に減少し目標値に及びませんでした。その他のスポーツ交流会を開催し、楽しみながらスポーツに興味を持っていたく機会を設けました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
スポーツ交流会参加者	年 8 4 人	年 5 1 人	年 4 0 0 人
関係機関との連携調整	2 回	—	1 回

○ 利用状況

区 分		R 4	R 3
生活・訓練・健康相談		3, 2 1 0 人	3, 0 0 2 人
医師との面談		2 人	2 2 人
訓 練	理学療法	1 2 5 人	1 1 5 人
	作業療法	4 3 人	3 7 人
	言語・聴覚療法	1 4 4 人	1 2 0 人
	視覚訓練	1 0 人	1 1 人
貸 出 施 設	多目的ホール	6, 2 1 9 人	5, 1 4 3 人
	屋外スポーツ広場	2, 3 2 5 人	2, 4 0 7 人
	S T T 室	1 0 人	0 人
	会議室	2 9 2 人	2 5 1 人
	水浴訓練室	1, 4 4 6 人	1, 1 3 1 人
住宅改造		1 1 人	1 7 人
福祉機器展示コーナー		2 6 人	3 7 人
主 催 事 業	社会適応訓練事業	2 4 人	2 0 人
	スポーツ・レクリエーション事業※	9 3 0 人	8 7 8 人
	創作的活動事業※	8 0 6 人	8 2 2 人

※短期講座含む

実施事業 老人福祉センター

(受託金) **538,479 千円** [520,305 千円] **545,163 千円**
生きがい活動支援通所事業

(受託金) **102,204 千円** [92,713 千円] **106,590 千円**

○ **利用者数の増加に向けた取組み**

合併の効果を生かし、区事務所、地区部会と連携して地域ニーズを把握し、各区の特性や施設のハードに応じて対策しました。また、ライフステージやニーズに適応した魅力ある新たな事業（デバイス利用や配信等）を実施し、生きがい活動支援通所事業など各種事業の定員の充足や新規利用者の割合の増加、継続利用者の確保に努めました。加えて、情報発信にSNSなどITを活用した広報や関係機関との連携で事業宣伝できるルートを拡大し、広報活動を強化しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
利用者数	402,698人	295,722人	621,638人

○ **介護予防事業の多様化の検討**

介護予防の客観的効果を可視化し、介護予防に関する意識の高揚を図るとともに、今後の事業展開に反映させるため効果を把握しました。また、合併の効果を生かし、区事務所、地区部会等との連携により、介護予防に注力する施設ということを広く地域住民へ周知し、継続して介護予防に取り組む機会を常時提供しました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
講演会	261回	347回	18回
いきいき体操	549回	493回	300回
健康に関するイベント	107回	13回	30回

○ 地域における多世代交流等の推進に向けた取組み

合併の効果を生かし、区事務所、地区部会と連携して、ふれあい・いきいきサロンや地域の高齢者グループを支援しました。また、地域の互助活動を進めるために、高齢者だけでなく、地域で暮らす多様な方々が交流できる機会を設けました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
新規の出張体操教室	4 3 団体	1 3 団体	6 団体
多世代等が交流するイベント	2 区	1 区	1 区

○ 老人福祉センター利用者数

施設名	R 4	R 3
中央	2 9, 1 4 2 人	2 3, 3 1 9 人
花見川プラザ	3 0, 6 9 5 人	2 4, 0 8 1 人
稲毛	5 5, 9 5 2 人	4 2, 8 0 5 人
若葉	4 8, 8 3 6 人	3 5, 9 0 0 人
緑	4 6, 0 6 8 人	3 3, 6 5 7 人
美浜	6 5, 6 6 7 人	5 2, 2 5 3 人
蘇我	1 5, 0 0 8 人	1 1, 0 2 8 人
花見川センター	1 5, 7 8 6 人	1 1, 3 5 3 人
さつきが丘	1 6, 7 5 2 人	9, 6 0 6 人
あやめ台	1 8, 9 2 7 人	1 0, 5 1 5 人
大宮	9, 7 6 8 人	5, 6 5 1 人
都賀	1 4, 3 9 6 人	1 1, 0 0 8 人
越智	1 0, 6 7 5 人	6, 8 1 3 人
土気	1 1, 7 3 1 人	8, 7 6 6 人
真砂	1 3, 2 9 5 人	8, 9 6 7 人
計	4 0 2, 6 9 8 人	2 9 5, 7 2 2 人

○ 老人福祉センター利用者数

(単位：人)

施設名		生活 相談	健康 相談	ボデイケア スクール	高齢者 福祉講座	高齢者 講演会	同好会	世代間 交流	浴室 利用
中央		70	3,985	2,044	4,216	196	6,818	106	—
花見川プ		112	2,534	1,533	3,513	612	4,067	242	7,451
稲毛		135	3,025	1,977	4,861	359	16,771	20	9,225
若葉		39	2,186	1,744	3,566	372	11,150	94	18,306
緑		64	2,340	2,104	4,864	269	7,482	173	13,775
美浜		117	2,922	2,224	6,426	272	21,545	117	—
蘇我		45	1,488	580	829	298	5,040	272	—
花見川セ		59	1,564	722	1,380	216	2,571	61	—
さつきが丘		120	1,514	857	1,172	319	2,964	140	—
あやめ台		72	2,007	695	892	375	2,459	100	—
大宮		68	1,754	545	508	59	1,627	91	—
都賀		91	1,260	555	855	87	4,842	70	—
越智		35	1,389	616	847	159	2,956	17	—
土気		50	1,439	703	720	190	1,761	117	—
真砂		22	1,568	756	905	120	4,637	38	—
合 計	R4	1,099	30,975	17,655	35,554	3,903	96,690	1,658	48,757
	R3	902	25,323	11,806	16,565	4,891	82,938	923	46,320

○ 生きがい活動支援通所事業利用者数

施設名	R 4	R 3
中央	2, 7 8 9 人	2, 7 1 1 人
花見川プラザ	2, 0 1 0 人	2, 1 0 8 人
稲毛	3, 3 2 7 人	3, 0 0 8 人
若葉	2, 3 2 7 人	2, 5 4 8 人
緑	1, 8 2 7 人	1, 9 4 6 人
美浜	3, 3 8 2 人	3, 5 6 5 人
蘇我	2, 5 2 7 人	2, 7 1 3 人
花見川センター	3, 4 4 0 人	3, 5 0 6 人
さつきが丘	2, 3 8 4 人	2, 3 0 2 人
あやめ台	2, 9 8 3 人	2, 3 1 5 人
大宮	1, 8 7 6 人	2, 1 0 5 人
都賀	3, 3 2 9 人	3, 5 5 0 人
越智	1, 3 6 6 人	1, 1 7 8 人
土気	2, 2 7 5 人	2, 4 1 5 人
真砂	2, 3 8 5 人	2, 6 7 5 人
計	3 8, 2 7 7 人	3 8, 6 4 5 人

○ 地域福祉サービス事業利用者数

施設名		訪問健康 生活相談	体操教室	出張測定会	地区部会への 専門職派遣	その他 自主事業
中央		0 人	263 人	573 人	32 人	633 人
花見川プ		17 人	668 人	234 人	136 人	3,075 人
稲毛		－	2,279 人	267 人	19 人	8,228 人
若葉		－	120 人	218 人	86 人	4,669 人
緑		－	380 人	336 人	12 人	613 人
美浜		180 人	1,827 人	260 人	224 人	1,429 人
蘇我		45 人	408 人	516 人	0 人	1,842 人
花見川セ		17 人	643 人	48 人	0 人	1,005 人
さつきが丘		11 人	2,218 人	0 人	242 人	1,142 人
あやめ台		188 人	3,416 人	183 人	309 人	4,529 人
大宮		47 人	126 人	47 人	0 人	2,493 人
都賀		102 人	259 人	20 人	20 人	258 人
越智		49 人	263 人	118 人	75 人	1,138 人
土気		13 人	435 人	148 人	183 人	410 人
真砂		37 人	207 人	144 人	156 人	434 人
合計	R 4	706 人	13,512 人	3,112 人	1,494 人	31,898 人
	R 3	318 人	8,957 人	3,011 人	0 人	4,328 人

○ おゆみ野ふれあい館利用者数

区 分	R 4	R 3
おゆみ野ふれあい館	6, 5 9 3 人	4, 0 8 4 人

いきいきプラザ内デイサービスセンター

実施事業

通所介護、通所介護相当サービス

(自主運営) 251,018 千円 [222,371 千円] 238,875 千円

利用定員

施設名	定員
中央いきいきプラザ内デイサービスセンター	32人
花見川いきいきプラザ内デイサービスセンター	31人
美浜いきいきプラザ内デイサービスセンター	35人

○ 収入確保への取組み

日々の定員充足率、稼働率、目標金額を設定するとともに、目標達成に向け必要な対策を講じ、事業収入の安定確保に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
定員充足率	96.1%	73.7%	100%
3施設平均の 1日あたりの収入 (年間収入)	273千円 (83,710千円)	242千円 (74,123千円)	247千円 (75,335千円)

○ 安定運営に向けた利用者の確保

重点

居宅介護支援事業所等との関係構築に注力し、継続的に新規利用者受入を行いました。

また、適用加算、利用者要介護認定区分、取得加算要件を継続的にモニタリングし、収益確保に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
1日平均稼働率	85.7% 中央区 27.3人 花見川区 26.3人 美浜区 30.3人	78.4% 中央区 23.7人 花見川区 25.9人 美浜区 27.3人	85% 中央区 27.2人 花見川区 26.3人 美浜区 29.8人

○ 非常勤職員の人材確保のための賃金アップとキャリアパス適正化

介護職員処遇改善加算等の取得を維持しつつ、配分ルールとキャリアパス（職務内容と経験等考慮）を有効活用し賃金体系の適正化に努めました。

区 分	R 4	R 3	R 4 目標値
嘱託介護員、非常勤 介助員の給与改善	実施	実施	実施

○ 通所介護利用者数

施設名		送迎	食事	入浴	個別機能 訓練	口腔機能	延べ 利用人数
中央		15,671 人	7,785 人	7,067 人	5,004 人	89 人	7,887 人
花見川		13,927 人	7,078 人	6,332 人	2,761 人	0 人	7,079 人
美浜		15,631 人	7,784 人	5,977 人	4,645 人	0 人	7,985 人
合 計	R 4	45,229 人	22,647 人	19,376 人	12,410 人	89 人	22,951 人
	R 3	40,762 人	20,383 人	16,986 人	7,508 人	156 人	20,715 人

○ 通所介護相当サービス利用人数

施設名		送迎	食事	入浴	運動器 機能訓練	延べ 利用人数
中央		1, 014 人	506 人	130 人	343 人	507 人
花見川		1, 840 人	920 人	735 人	478 人	921 人
美浜		2, 630 人	1, 351 人	960 人	1, 299 人	1, 351 人
合 計	R 4	5, 484 人	2, 777 人	1, 825 人	2, 120 人	2, 779 人
	R 3	6, 290 人	3, 110 人	2, 659 人	2, 256 人	3, 151 人

関連資料

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会 組織図

2023/4/1





社会福祉
法人

千葉県社会福祉協議会

〒260-0844

千葉県中央区千葉寺町1208-2

千葉県ハーモニープラザ3階

TEL: 043-209-8884

FAX: 043-312-2442

E-Mail: info@chiba-shakyo.jp